

アジサイ属 特性調査マニュアル



(初版)

令和 7 年 1 月 20 日 制定

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

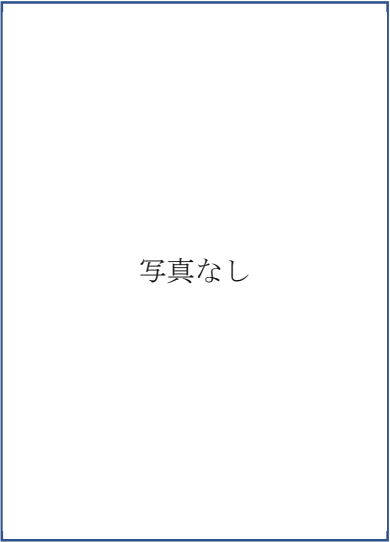
種苗管理センター

特性表

2023 年 4 月アジサイ属審査基準に準拠

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	1	QL (*) G	生育型	Plant: type	つる性の有無	観察 VG	1 2	つる性 非つる性	climbing non-climbing	Silver Lining(e)	

- 調査時期
開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）
- 調査方法
栽培区全体を見て生育型を観察する。
2 区制により試験する種にあつては、中 pH 区を調査する。



写真なし

1 つる性



2 非つる性

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
2	2	2	QN (*) (+)	樹型	Only varieties with Plant: type: non- climbing: Plant: growth habit	樹型（非つる性品種に限 る。）	観察 VG	1 2 3	直立 半直立 開張	upright semi upright spreading		

●調査時期

開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

茎の伸長方向を観察する。

形質1「生育型」で「2 非つる性」と評価した品種を調査する。

2 区制により試験する種にあつては、中 pH 区を調査する。



1 直立



2 半直立



3 開張

図：審査基準より引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
3	3	3	QN (*) (+)	樹高	Only varieties with Plant: type: non- climbing: Plant: height	株の自然高（非つる性品 種に限る。）	測定 cm MS	1 3 5 7 9	極低 低 中 高 極高	very short short medium tall very tall	白手鞠(a) レイニーハッピー ベル(a) アナベル(c)	

●調査時期

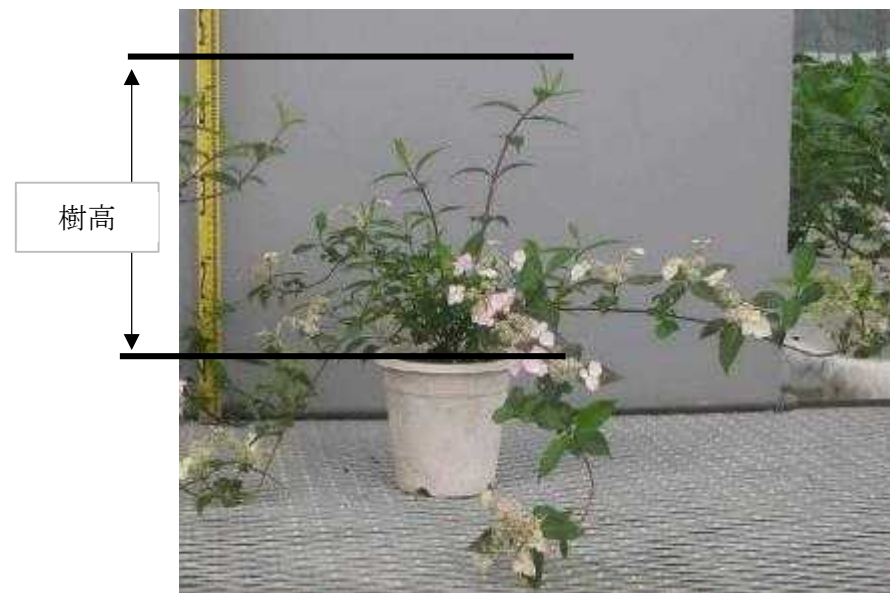
開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

地際部から最頂部までの長さを測定する。

形質1「生育型」で「2 非つる性」と評価した品種を調査する。

2 区制により試験する種にあつては、中 pH 区を調査する。



左側写真：審査基準より引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
4	4	4	QN	樹幅に対する樹高	Only varieties with <u>Plant: type: non-climbing:</u> Plant: height in relation to width	樹幅と比較した樹高の高低（非つる性品種に限る。）	観察 VG	1 2 3	縦長 ほぼ同等 横長	taller than broad as tall as broad broader than tall		

●調査時期

開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

樹幅と比較した樹高の高低を観察する。

形質1「生育型」で「2 非つる性」と評価した品種を調査する。

枝が1本の場合は自然状態の形を評価する。

枝が鉢の下に垂れた場合は、垂れた部分を考慮せず、鉢（地際）より上部で評価する。

2区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。



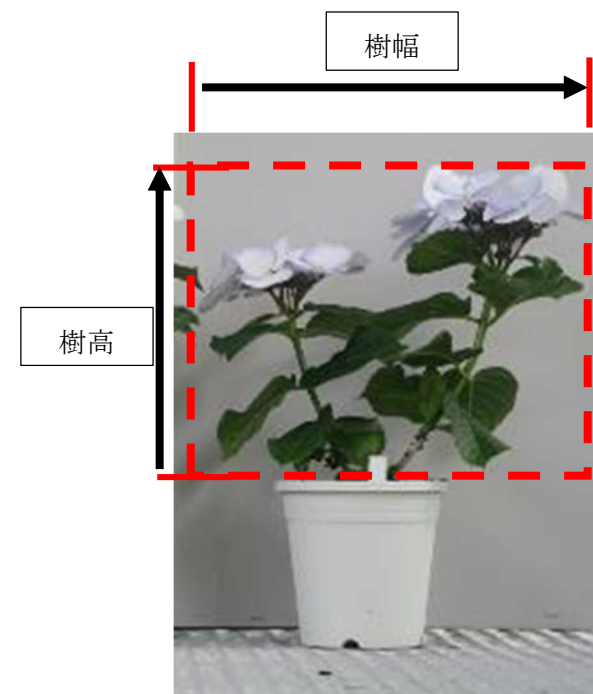
1 縦長



2 ほぼ同等



3 横長



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
5	5		QN	茎の節間長	Stem: length of internode	花序の下2、3節目の節間の長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ユーミートウギヤザー(a) レイニーハッピーベル(a)	

●調査時期

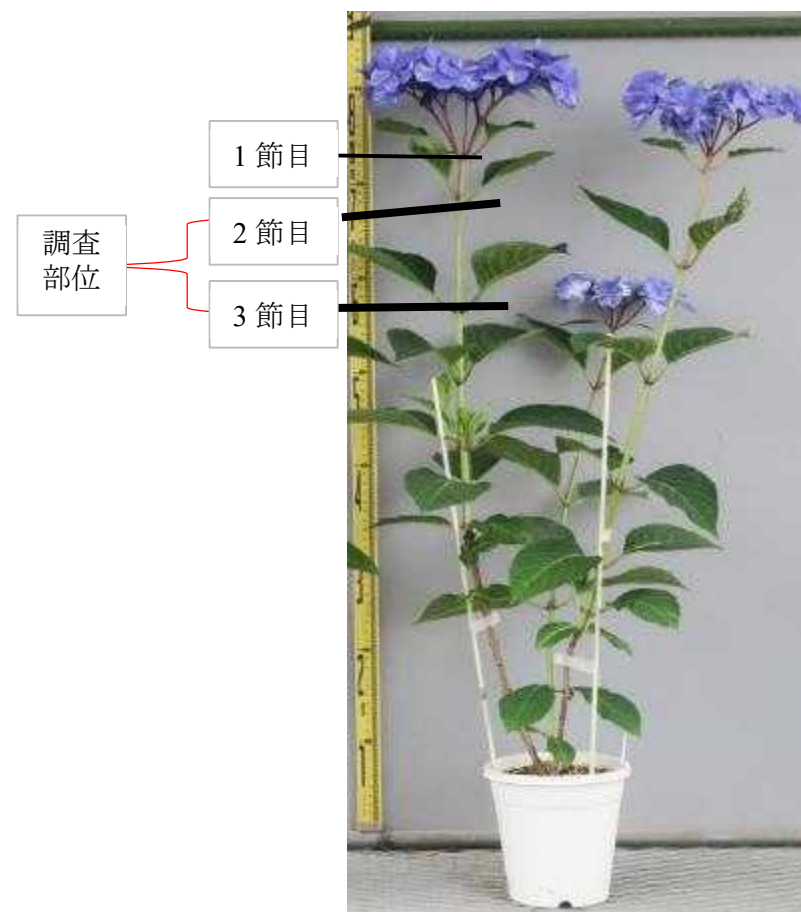
開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

花序の下2節目と3節目の節間の長さを測定する。

十分に発達した最初の花序のある茎で調査する。

2区制により試験する種にあつては、中 pH 区を調査する。



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
6	6	5	QL (*) (+) G	茎の帯化の有無	Stem: fasciation	茎の帯化の有無	観 察 VG	1 9	無 有	absent present		

●調査時期

開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

茎の帯化の有無を観察する。

すべての株で、帯化がわずかでも確認できれば、「9 有」と評価する。

育苗中のみに確認できた場合は評価しない。

2 区制により試験する種にあつては、中 pH 区を調査する。

帯化とは、茎がリボン状に平坦になる等の外見的な変形及び奇形であり、「石化（せつか）」や「綴化（てつか）」とも言われる。



1 無



9 有

右側写真：審査基準より引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
7	7	6	PQ (*) G	茎の色	Stem: color	茎の色	観 察 VG (a)	1 2 3 4 5 6	緑 桃 赤 茶 黒 緑及び黒	green pink red brown black green and black	BOKRAFLAME(b)	

●調査時期

開花前

(十分に発達した最初の花序の装飾花のがく片が展開し始めてから、がく片に着色が確認できる(開花始期)ころまで)

●調査方法

当年枝を三等分した中間部の茎の色を観察する。

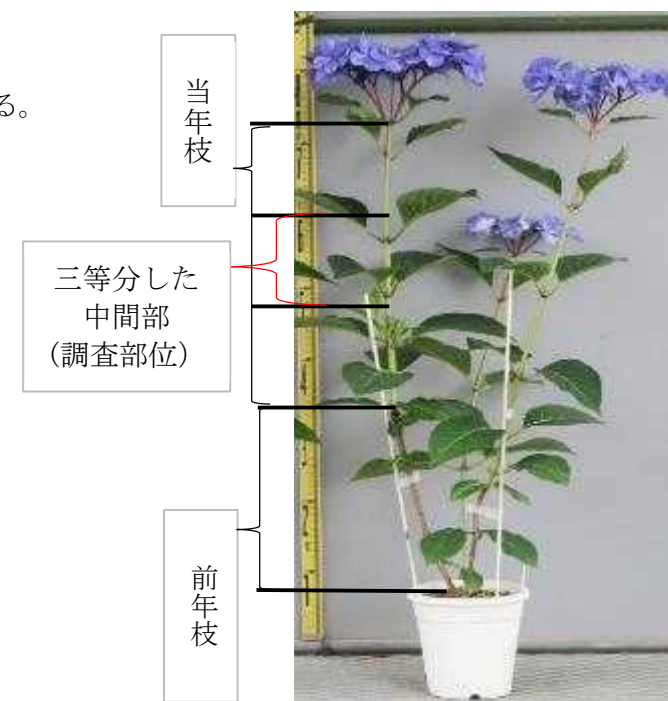
形質5「茎の節間長」の調査部位と異なるので注意する。

常緑系品種については休眠しないため、一次分枝の着生基部から花序の下節までを当年枝と見立て調査する。

十分に発達した最初の花序のある茎で調査する。

2色ある場合は面積の小さい色(二次色)を、面積が同等の場合は薄い色を「二次色;○○」と備考欄に記載(○○は状態区分)する。

2区制により試験する種にあつては、中 pH 区を調査する。





写真なし



写真なし

1 緑

2 桃

3 赤

4 茶

5 黒

6 緑及び黒

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
8	8	7	QN (+)	茎の皮目の数	Stem: number of lenticels	皮目の多少	観 察 VG (a)	1 2 3 4 5	無または少 やや少 中 やや多 多	absent or few few to medium medium medium to many many	白手鞠(a) ユーミートゥギ ャザー(a)	

●調査時期

開花前（十分に発達した最初の花序の装飾花のがく片が展開し始めてから、がく片に着色が確認できる（開花始期）ころまで）

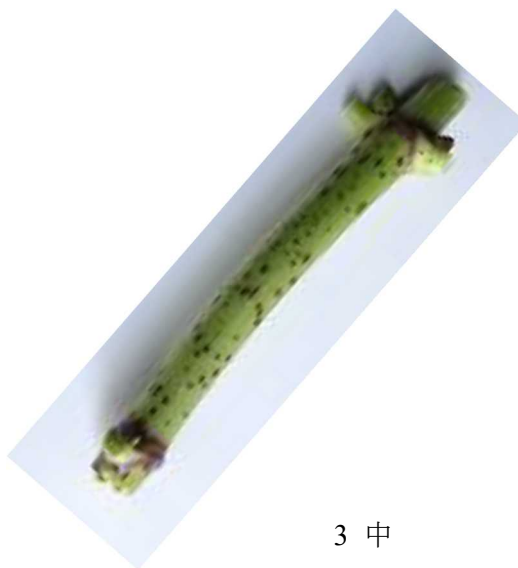
●調査方法

当年枝を三等分した中間部の皮目の多少を観察する。

2 区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。



1 無または少



3 中



5 多

写真：審査基準より引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
9	9	8	QN (+)	茎の皮目の大きさ	Stem: size of lenticels	皮目の大きさ（当年枝において皮目がみえる品種に限る。）	観察 VG (a)	1 2 3	小 中 大	small medium large	Hokomac(a)	

●調査時期

開花前（十分に発達した最初の花序の装飾花のがく片が展開し始めてから、がく片に着色が確認できる（開花始期）ころまで）

●調査方法

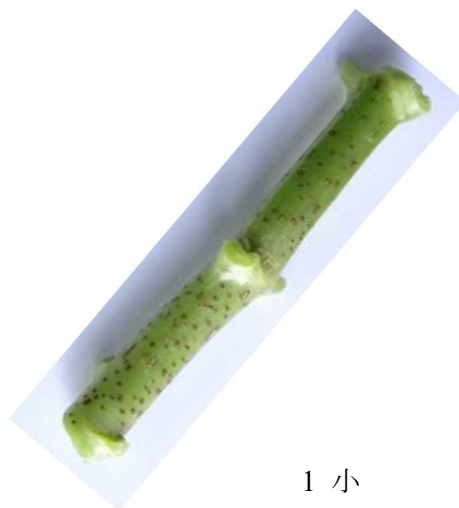
当年枝を三等分した中間部の皮目の大きさを観察する。

形質 8「茎の皮目の数」の「1 無また少」と評価した品種で、皮目が見えない場合は皮目がないことが分かるように、測定値欄に「無」と記載する。

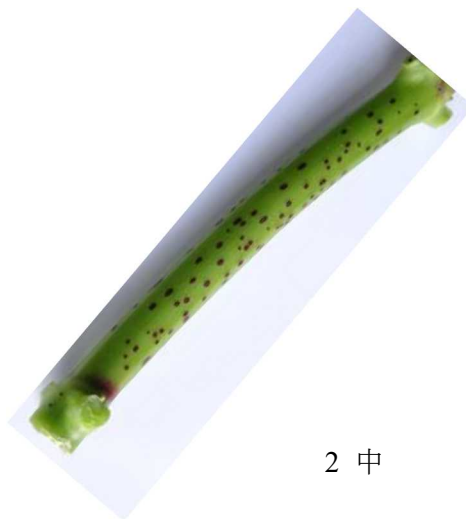
形質 8「茎の皮目の数」で調査した、典型的な皮目の大きさを評価する。

当年枝において皮目が見える品種を調査する。

2 区制により試験する種にあつては、中 pH 区を調査する。



1 小



2 中



3 大

写真：審査基準より引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
10	10	9	PQ	茎の皮目の色	Stem: color of lenticels	皮目の色（当年枝において皮目がみえる品種に限る。）	観察 VG (a)	1 2 3	白系 赤系 黒系	whitish reddish blackish		

●調査時期

開花前（十分に発達した最初の花序の装飾花のがく片が展開し始めてから、がく片に着色が確認できる（開花始期）ころまで）

●調査方法

当年枝を三等分した中間部で観察する。

形質9「茎の皮目の大きさ」で、測定値欄に「無」と記載した場合は、評価しない。

当年枝において皮目がみえる品種を調査する。

皮目の中心部と周縁部で異なる色がある場合は、濃い色を評価する。

2区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。



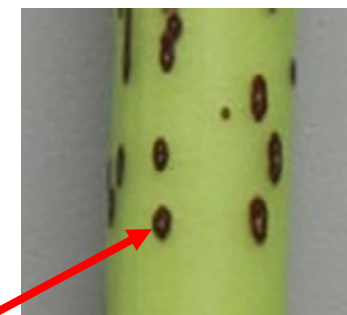
1 白系



2 赤系



3 黒系



評価部位
(皮目)



樹皮がひび割れた
部分は評価しない

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
11	11	10	QN (*)	葉身の長さ	Leaf blade: length	葉身の長さ	測定 cm MS (b)	3 5 7	短 中 長	short medium long	ミセスクミコ(a)、 ユーミートウギヤ ザー(a)	

●調査時期

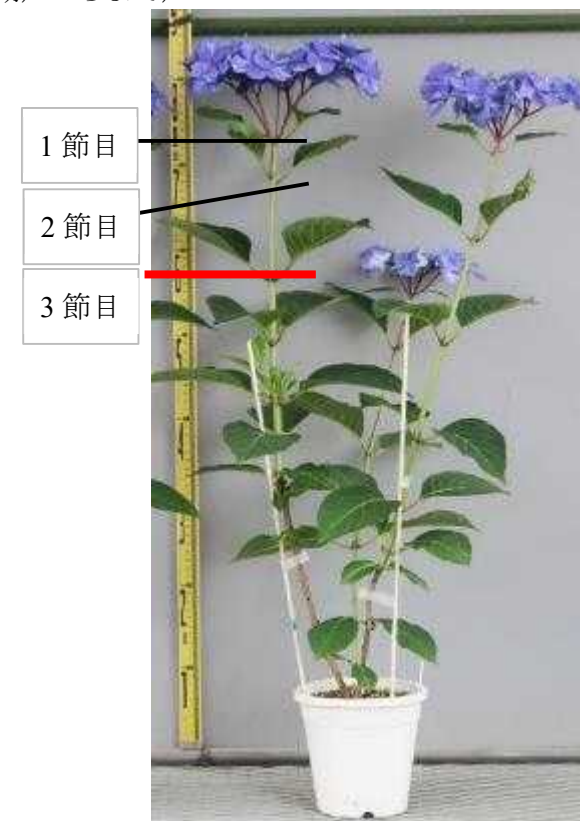
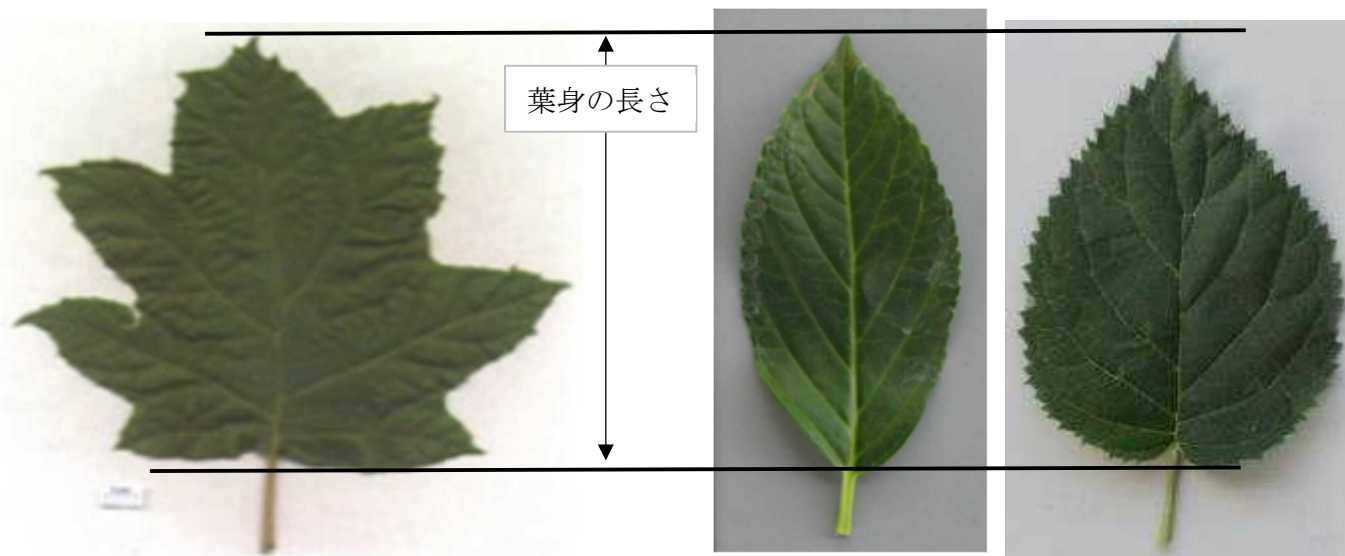
開花前（十分に発達した最初の花序の装飾花のがく片が展開し始めてから、がく片に着色が確認できる（開花始期）ころまで）

●調査方法

十分に発達した最初の花序のある茎に着生する葉を、軽く押し広げ葉身の先端から基部までの長さを測定する。

花序の下3節目の葉の表面で調査する。

2区制により試験する種にあつては、中 pH 区を調査する。



左側写真：審査基準より引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
12	12	11	QN	葉身の幅	Leaf blade: width	葉身の最大幅	測定 cm MS (b)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ユーミートゥギャ ザー(a)	

●調査時期

開花前（十分に発達した最初の花序の装飾花のがく片が展開し始めてから、がく片に着色が確認できる（開花始期）ころまで）

●調査方法

十分に発達した最初の花序のある茎に着生する葉を、軽く押し広げ葉身の最大幅を測定する。

花序の下3節目の葉の表面で調査する。

2区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。



右側写真：審査基準より引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
13	13	12	QL (*) (+)	葉身の切れ込みの有無	Leaf blade: lobing	葉身の切れ込みの有無	観察 VG (b)	1 9	無 有	absent present	ハーモニー(d)	

●調査時期

開花前（十分に発達した最初の花序の装飾花のがく片が展開し始めてから、がく片に着色が確認できる（開花始期）ころまで）

●調査方法

鋸歯の有無ではなく、葉身に裂片があるかを観察する。

十分に発達した最初の花序のある茎に着生する葉で調査する。

花序の下3節目の葉の表面で調査する。

2区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。



1 無



9 有

写真：審査基準より引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
14	14	13	PQ (*) (+)	葉身の形	Only varieties with Leaf blade: lobing; absent: Leaf blade: shape	葉身の形（切れ込みのない品種に限る。）	観察 VG (b)	1 2 3 4	卵形 円形 楕円形 倒卵形	ovate circular elliptic obovate		

●調査時期

開花前（十分に発達した最初の花序の装飾花のがく片が展開し始めてから、がく片に着色が確認できる（開花始期）ころまで）

●調査方法

形質 13「葉身の切れ込みの有無」で「1 無」と評価した品種を調査する。

葉の長さ幅及び最大幅の位置を総合的に観察する。

十分に発達した最初の花序のある茎に着生する葉で調査する。

花序の下3節目の葉の表面で調査する。

2区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。

「2 円形」と「3 楕円形」の中間形である「広楕円」は「3 楕円形」として評価する。



1 卵形



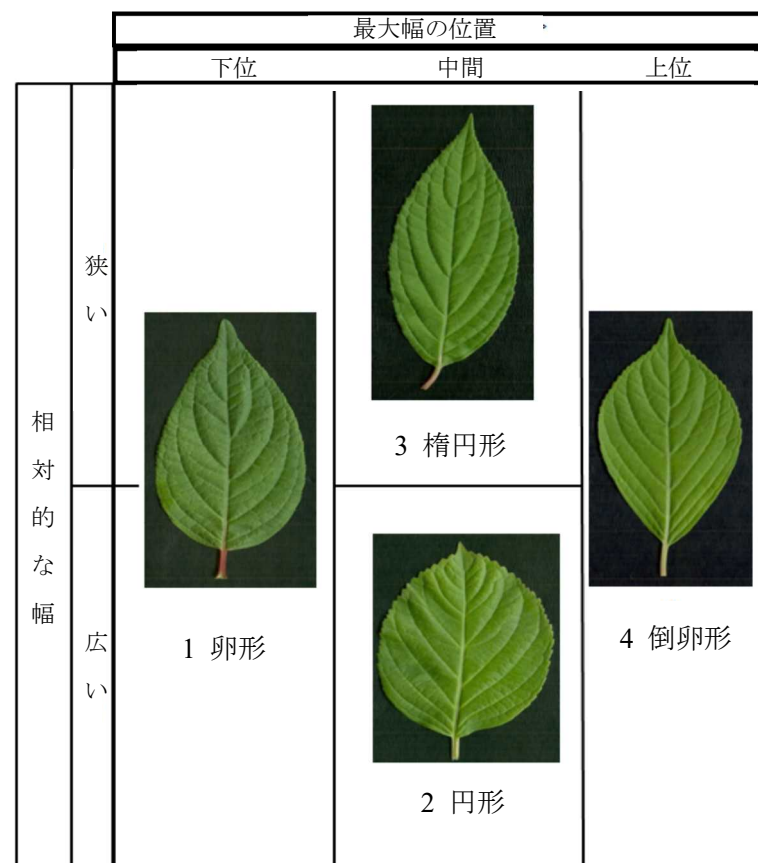
2 円形



3 楕円形



4 倒卵形



左側図：UPOV TGP/14/6、右側写真：審査基準より引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
15	15	14	QN (+)	葉身の先端部の 突出部分の長さ	Leaf blade: length of tip	葉身の先端部の突出部分 の長さ	観察 VG (b)	1 2 3	無又は短 中 長	absent or short medium long		

●調査時期

開花前（十分に発達した最初の花序の装飾花のがく片が展開し始めてから、がく片に着色が確認できる（開花始期）ころまで）

●調査方法

葉身の先端部の突出部分の長さを観察する。

十分に発達した最初の花序のある茎に着生する葉で調査する。

花序の下3節目の葉の表面で調査する。

2区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。



1 無又は短



2 中



3 長



右側写真：審査基準より引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
16	16		PQ (+)	葉身の先端部の形	Leaf blade: shape of apex (excluding tip)	形質 15 の葉身の先端の突起を除いた先端部全体の形	観察 VG (b)	1 2 3 4	鋭尖形 鋭形 鈍形 円形	acuminate acute obtuse rounded		

●調査時期

開花前（十分に発達した最初の花序の装飾花のがく片が展開し始めてから、がく片に着色が確認できる（開花始期）ころまで）

●調査方法

葉身先端の突起部分を除いた先端部全体の形を観察する。

「1 鋭尖形」のみ先端突出部分を含めて評価し、その他の階級については先端突出部分を除いて評価する。

十分に発達した最初の花序のある茎に着生する葉で調査する。

花序の下3節目の葉の表面で調査する。

2区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。



1 鋭尖形



2 鋭形



3 鈍形



4 円形



図：審査基準より引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
17	17	15	PQ (*) (+)	葉身の基部の形	Leaf blade: shape of base	葉身の基部の形	観察 VG (b)	1 2 3 4	鋭形 鈍形 丸形 心形	acute obtuse rounded cordate	アナベル(c)	

●調査時期

開花前（十分に発達した最初の花序の装飾花のがく片が展開し始めてから、がく片に着色が確認できる（開花始期）ころまで）

●調査方法

葉の葉身の基部の形を観察する。

十分に発達した最初の花序のある茎に着生する葉で調査する。

花序の下3節目の葉の表面で調査する。

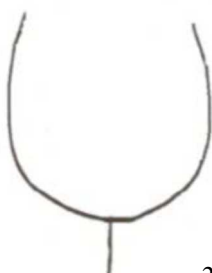
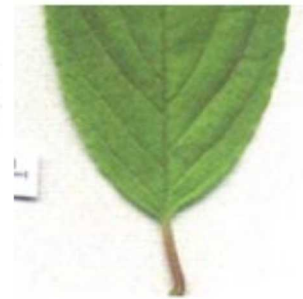
2区制により試験する種にあつては、中 pH 区を調査する。



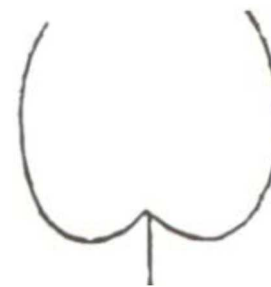
1 鋭形



2 鈍形



3 丸形



4 心形



図：UPOV TGP/14/6、写真：審査基準より引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
18	18	16	QN (+)	葉縁の鋸歯の深さ	Leaf blade: depth of incisions on margin	葉縁の鋸歯の深さ	観察 VG (b)	1 2 3 4 5	無又は極浅 浅 中 深 極深	absent or very shallow shallow medium deep very deep	ホバジーン(a)	

●調査時期

開花前（十分に発達した最初の花序の装飾花のがく片が展開し始めてから、がく片に着色が確認できる（開花始期）ころまで）

●調査方法

葉身周縁の鋸歯の深さを観察する。

葉身の大きさに対して相対的に評価する。

十分に発達した最初の花序のある茎に着生する葉で調査する。

花序の下3節目の葉の表面で調査する。

2区制により試験する種にあつては、中 pH 区を調査する。



1 無又は極浅



2 浅



3 中



4 深



5 極深

写真：審査基準から引用



1 無又は極浅



2 浅



3 中



4 深



5 極深

写真：審査基準から引用（拡大）

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
19	19	17	QN (*) G	葉身のアントシアニンの着色	Leaf blade: intensity of anthocyanin coloration	葉身表面のアントシアニン着色の強弱	観察 VG (b)	1 2 3 4 5	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong		

●調査時期

開花前（十分に発達した最初の花序の装飾花のがく片が展開し始めてから、がく片に着色が確認できる（開花始期）ころまで）

●調査方法

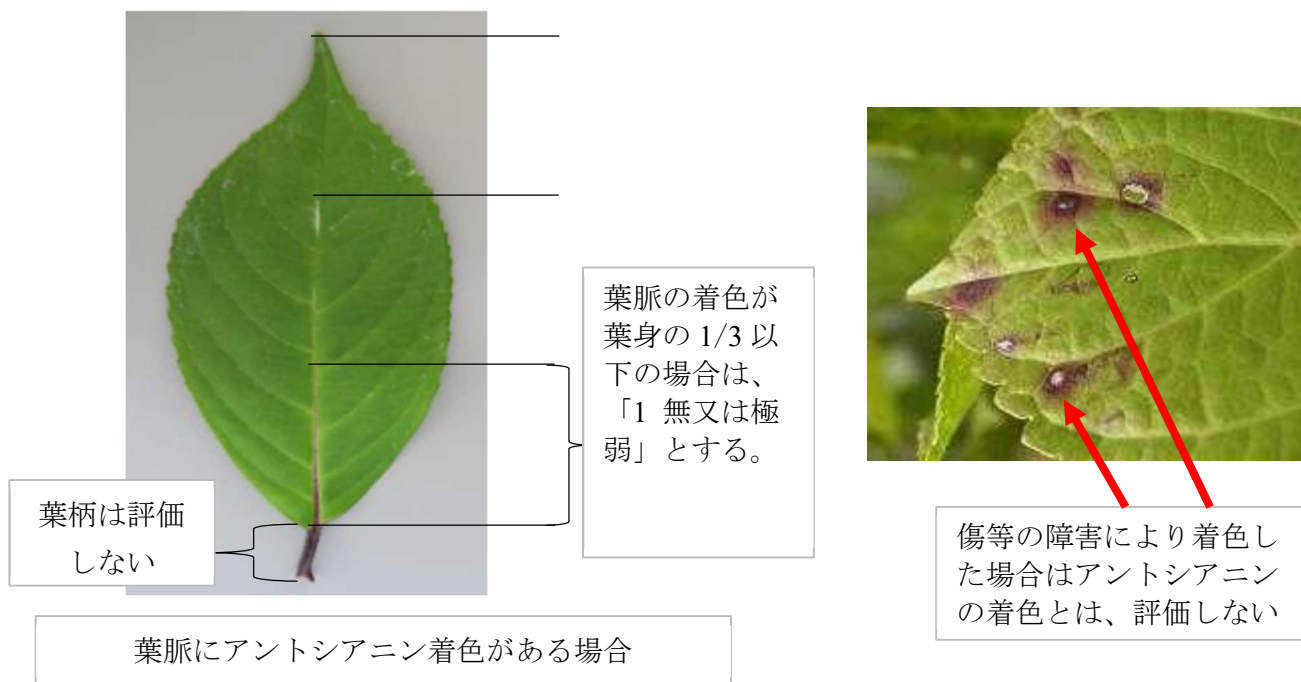
葉身表面のアントシアニンの強弱を観察する。

着色の濃さ及び面積を総合的に評価する。

十分に発達した最初の花序のある茎に着生する葉で調査する。

花序の下3節目の葉の表面で調査する。

2区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。

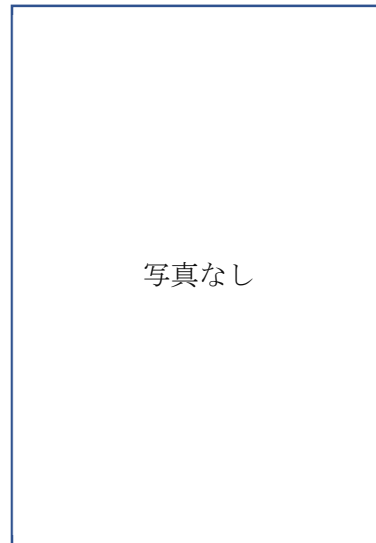




1 無又は極弱



2 弱



写真なし

3 中



4 強



5 極強

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
20	20	18	PQ (+)	葉身のアントシアニン着色の分布	Leaf blade: distribution of anthocyanin coloration	葉身表面のアントシアニン着色の分布	観察 VG (b)	1 2 3	無 周縁部 全体	none on margin throughout		

●調査時期

開花前（十分に発達した最初の花序の装飾花のがく片が展開し始めてから、がく片に着色が確認できる（開花始期）ころまで）

●調査方法

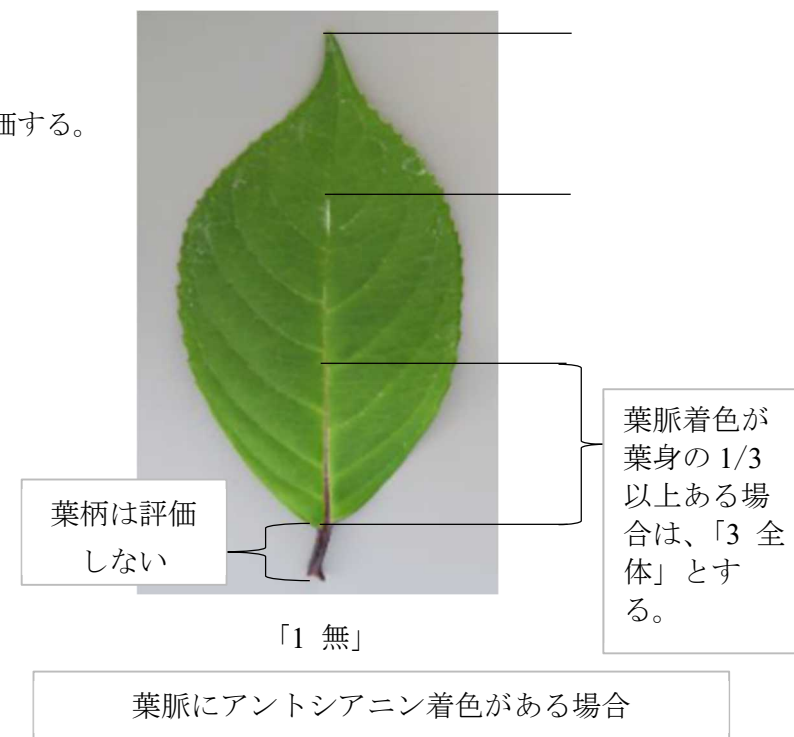
葉身表面のアントシアニンの分布を観察する。

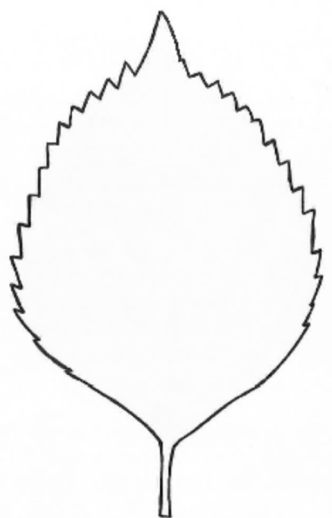
十分に発達した最初の花序のある茎に着生する葉で調査する。

花序の下3節目の葉の表面で調査する。

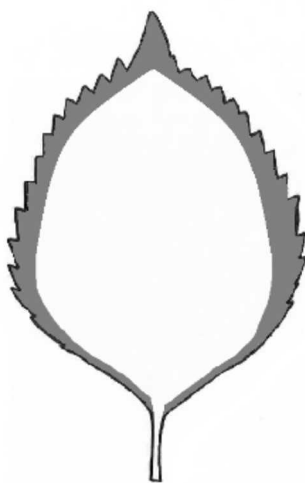
2区制により試験する種にあつては、中 pH 区を調査する。

着色した葉脈があり、葉身の 1/3 以上着色している部分が明確に確認できる場合は「3 全体」と評価する。

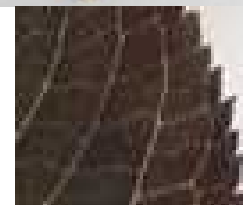
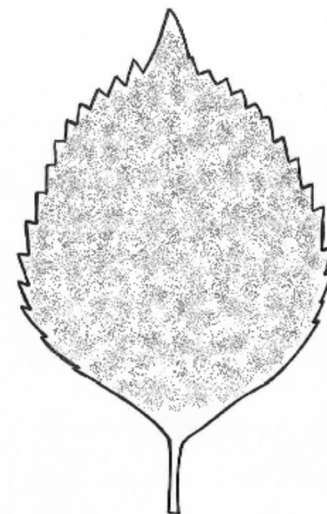




1 無



2 周縁部



3 全体

図：審査基準より引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
21	21	19	QL (*) G	葉身の斑の有無	Leaf blade: variegation	葉身表面の斑の有無	観察 VG (b)	1 9	無 有	absent present		

●調査時期

開花前（十分に発達した最初の花序の装飾花のがく片が展開し始めてから、がく片に着色が確認できる（開花始期）ころまで）

●調査方法

葉身表面の斑の有無を観察する。

十分に発達した最初の花序のある茎に着生する葉で調査する。

花序の下3節目の葉の表面で調査する。

2区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。



1 無



9 有

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
22	22	20	PQ (*) G	葉身の主な色	Leaf blade: main color	葉身表面の主な色（斑を除く。また、アントシアニン着色を除いた地色を評価する。）	観察 VG (b)	1 2 3 4	黄 淡緑 緑 濃緑	yellow light green medium green dark green	黄金葉(a) ホバジーン(a)	

●調査時期

開花前（十分に発達した最初の花序の装飾花のがく片が展開し始めてから、がく片に着色が確認できる（開花始期）ころまで）

●調査方法

葉身表面の主な色を観察する。

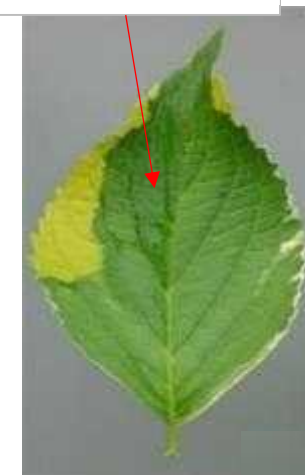
十分に発達した最初の花序のある茎に着生する葉で調査する。

花序の下3節目の葉の表面で調査する。

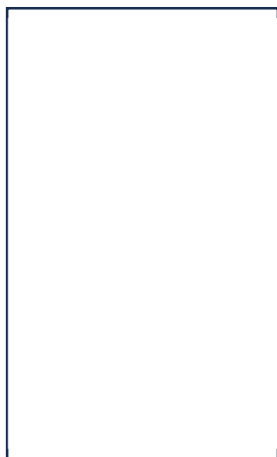
形質 21「葉身の斑の有無」で「9 有」と評価した品種は、斑の色を除いた主な色を評価する。

アントシアニンが着色している着色している部分を除いて評価する。

調査部位
(斑の無い部分)



斑がある場合



1 黄



2 淡緑



3 緑



4 濃緑

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
23	23	21	PQ (*)	葉身の二次色	Leaf blade: secondary color	葉身表面の二次色（アントシアニン着色を除いた地色を評価する。）	観察 VG (b)	1 2 3 4	無 白 黄 黄緑	none white yellow yellow green		

●調査時期

開花前（十分に発達した最初の花序の装飾花のがく片が展開し始めてから、がく片に着色が確認できる（開花始期）ころまで）

●調査方法

葉身表面の二次色（斑の色）を観察する。

十分に発達した最初の花序のある茎に着生する葉で調査する。

花序の下3節目の葉の表面で調査する。

形質 21「葉身の斑の有無」で「9 有」と評価した品種の斑の色を調査する。

2区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。

アントシアニンが着色している着色部分を除いて評価する。

斑の色が2色ある場合は、面積の小さい色（三次色）を「三次色;○○」と測定値欄に記載（○○は状態区分）する。



二次色
(白)

三次色
(黄緑)



二次色
(黄)

三次色
(黄緑)



1 無



2 白



3 黄



4 黄緑

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
24	24	22	QN	葉身の光沢	Leaf blade: glossiness	葉身表面の光沢の強弱	観察 VG (b)	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak medium strong	白手鞠(a)	

●調査時期

開花前（十分に発達した最初の花序の装飾花のがく片が展開し始めてから、がく片に着色が確認できる（開花始期）ころまで）

●調査方法

葉身表面の光沢の強弱を観察する。

十分に発達した最初の花序のある茎に着生する葉で調査する。

花序の下3節目の葉の表面で調査する。

2区制により試験する種にあつては、中 pH 区を調査する。

写真なし



1 無又は弱

2 中

3 強

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
25	25	23	QN	葉身のしわ	Leaf blade: rugosity	葉身の表面のしわ（葉脈部分の凹み）の強弱	観察 VG (b)	1 2 3 4 5	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	BOKRAFLAME(b)	

●調査時期

開花前（十分に発達した最初の花序の装飾花のがく片が展開し始めてから、がく片に着色が確認できる（開花始期）ころまで）

●調査方法

葉身表面のしわ（葉脈部分の凹み）の強弱を観察する。

十分に発達した最初の花序のある茎に着生する葉で調査する。

花序の下3節目の葉の表面で調査する。

2区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。



1 無又は極弱



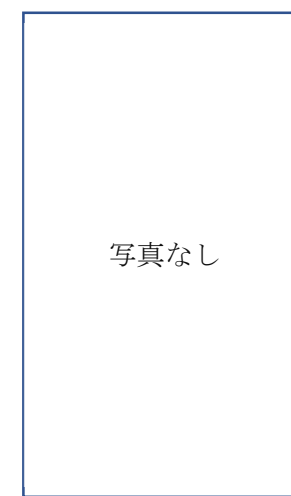
2 弱



3 中



4 強



5 極強

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
26	26	24	QN (+)	葉身の横断面の形	Leaf blade: shape in cross-section	葉身の横断面の形	観察 VG (b)	1 2 3	凹 平 凸	concave flat convex		

●調査時期

開花前（十分に発達した最初の花序の装飾花のがく片が展開し始めてから、がく片に着色が確認できる（開花始期）ころまで。）

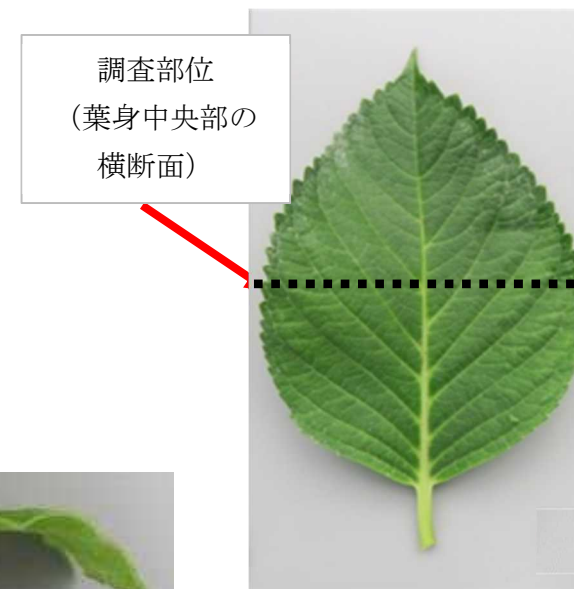
●調査方法

葉身中間部の横断面の典型的な形を観察する。

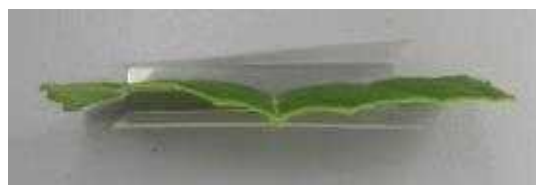
十分に発達した最初の花序のある茎に着生する葉で調査する。

花序の下3節目の葉の表面で調査する。

2区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。



1 凹



2 平



3 凸

図：審査基準より引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
27	27	25	PQ (*) (+)	葉柄の色	Petiole: color	葉柄裏面の中央部の色 (花序の下3節目の葉で 調査する。)	観察 VG	1 2 3 4	緑 赤 緑褐 黒	green red greenish brown black	HORZU(a)	

●調査時期

開花前（十分に発達した最初の花序の装飾花のがく片が展開し始めてから、がく片に着色が確認できる（開花始期）ころまで）

●調査方法

葉柄裏面の中央部（葉柄の3等分した中間部）の主な色を観察する。

十分に発達した最初の花序のある茎に着生する葉で調査する。

花序の下3節目の葉で調査する。

2区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。



1 緑



2 赤



3 緑褐



4 黒

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
28	28	26	PQ (*) (+) G	花序の型	Inflorescence: shape	花序の形	観 察 VG (d)	1 2 3 4 5	平型 平型～球型 球型 球型～円錐型 円錐型	flattened flattened to globular globular globular to conical conical	ダンシングスノー (a) スノーフレーク(d)	

●調査時期

開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

花序の側面から花序の形を観察する。

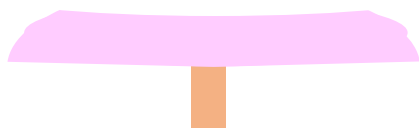
十分に発達した最初の花序で調査する。

2区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。

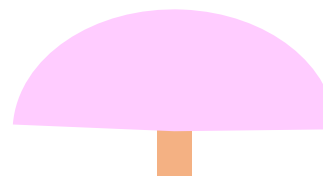


調査対象
花序

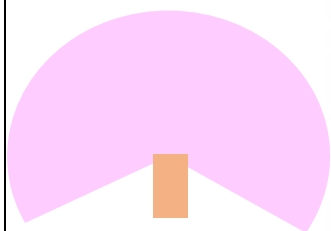




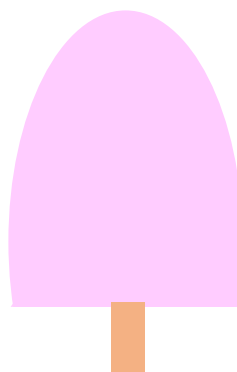
1 平型



2 平型～球型



3 球型



4 球型～円錐型



5 円錐型

写真：審査基準から引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
29	29	27	QN (+)	花序の高さ	Inflorescence: height	花序の高さ	測定 cm MS (d)	3 5 7	低 中 高	short medium tall	ミセスクミコ(a)、 ユーミートゥギャ ザー(a)	

●調査時期

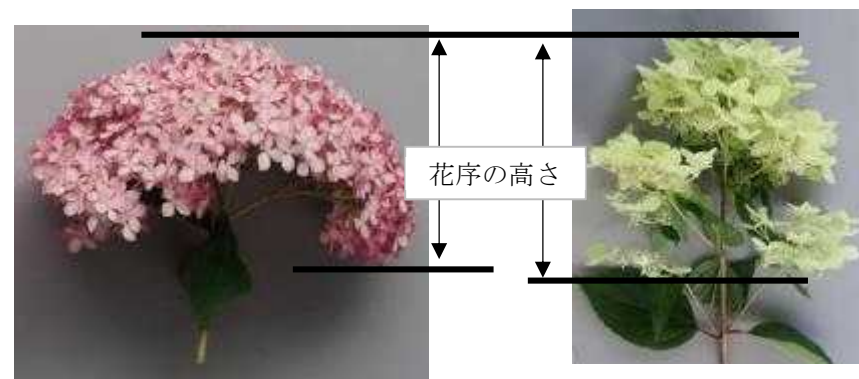
開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

花序の最も下の花（装飾花又は両性花）から花序の最頂部までの高さを測定する。

十分に発達した最初の花序で調査する。

2 区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。



左側 3 枚の写真：審査基準より引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
30	30	28	QN (+)	花序の幅	Inflorescence: width	花序の最大径	測定 cm MS (d)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	白手鞠(a) ユーミートゥギャ ザー(a)	

●調査時期

開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

花序の最大幅を測定する。

十分に発達した最初の花序で調査する。

2 区制により試験する種にあつては、中 pH 区を調査する。



左側 3 枚の写真：審査基準より引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
31	31	29	QN (*) (+) G	花序の両性花の 明瞭度	Inflorescence: conspicuousness of fertile flowers	花序の両性花の目立ちや すさの強弱	観 察 VG (d)	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak medium strong		

●調査時期

開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

花序内の両性花の目立ちやすさの強弱を観察する。

十分に発達した最初の花序で調査する。

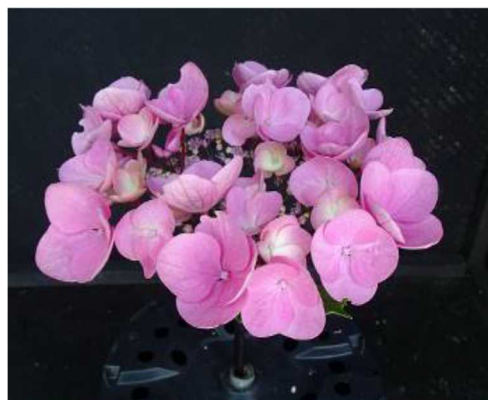
コアジサイのような装飾花のない品種は「3 強」と評価する。

両性花と装飾花は、花弁とがく片の大きさ及びがく片の有無で判断する。

2 区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。



1 無又は弱



2 中



3 強

両性花

写真：審査基準より引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
32	32	30	PQ (*) (+)	花序の装飾花の配列	Only varieties with <u>Inflorescence:</u> <u>conspicuousness of</u> <u>fertile flowers:</u> <u>medium and</u> <u>strong:</u> Inflorescence: arrangement of sterile flowers	花序の装飾花の配列（花序の両性花の明瞭度が中及び強の品種に限る。）	観察 VG (d)	1 2 3	一列 二列以上 不規則	in one whorl in two or more whorls irregular		

●調査時期

開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

花序の装飾花の配列を観察する。

十分に発達した最初の花序で調査する。

形質 31「花序の両性花の明瞭度」で「2 中」又は「3 強」と評価した品種を調査する。

「3 強」と評価した品種で装飾花がない場合は、「装飾花なし」と備考欄に記載する。

2 区制により試験する種にあつては、中 pH 区を調査する。



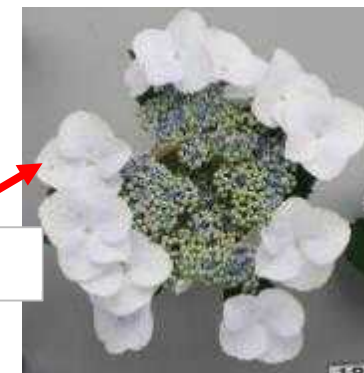
1 一列



2 二列以上



3 不規則



装飾花

状態区分の写真：審査基準より引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
33	33	31	QN (+)	花序の装飾花の粗密	Only varieties with <u>Inflorescence:</u> <u>conspicuousness of</u> <u>fertile flowers:</u> <u>absent or weak:</u> Inflorescence: density of sterile flowers	花序の装飾花の粗密（花序の両性花の明瞭度が無又は弱の品種に限る。）	観察 VG (d)	1 2 3 4 5	粗 やや粗 中 やや密 密	sparse sparse to medium medium medium to dense dense		

●調査時期

開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

形質 31「花序の両性花の明瞭度」が「1 無又は弱」の品種を観察する。

花序の装飾花の粗密を評価する。

十分に発達した最初の花序で調査する。

2 区制により試験する種にあつては、中 pH 区を観察する。



1 粗



3 中



5 密

写真：審査基準より引用



1 粗



3 中



5 密



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
34	34		QN	花序の装飾花の数	Inflorescence: number of sterile flowers	花序中の装飾花の数	測定 MS (d)	1 2 3 5 7	無 かなり少 少 中 多	none very few few medium many	レイニーハッピー ベル(a) 白手鞠(a)	

●調査時期

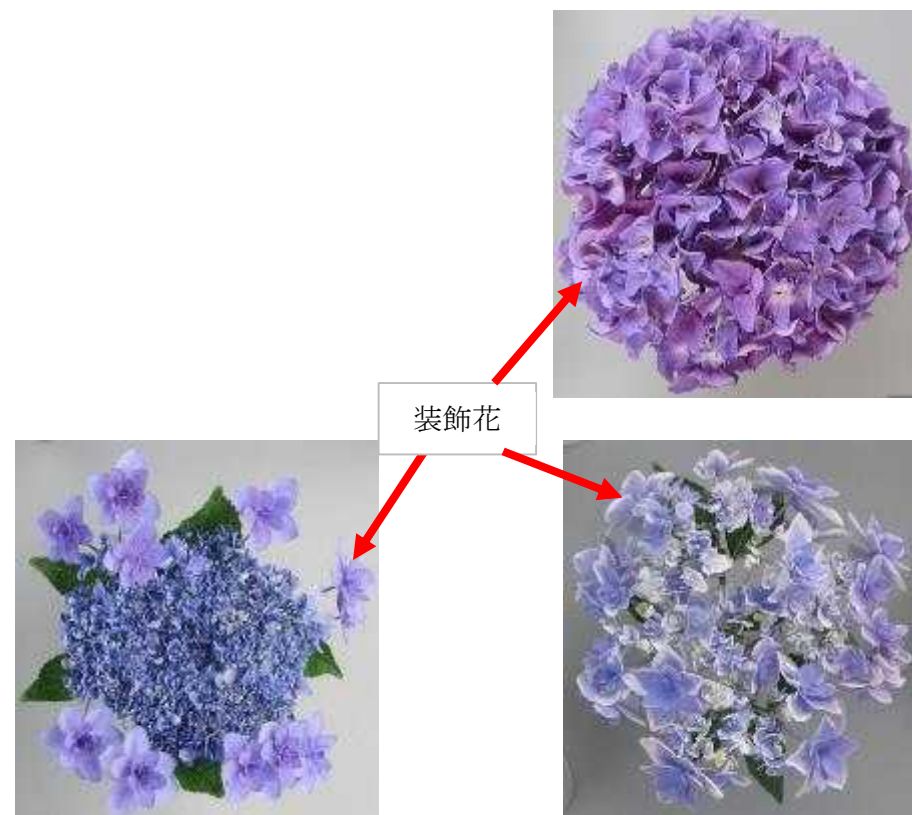
開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

1 花序内の装飾花の数を測定する。

十分に発達した最初の花序で調査する。

2 区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
35	35	32	QN (+) (*) G	装飾花の直径	Sterile flower: diameter of calyx	装飾花のがくを含む最大 径	測定 cm MS (d)	3 5 7	小 中 大	small medium large	ユーマイトウギヤ ザー(a)	

●調査時期

開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

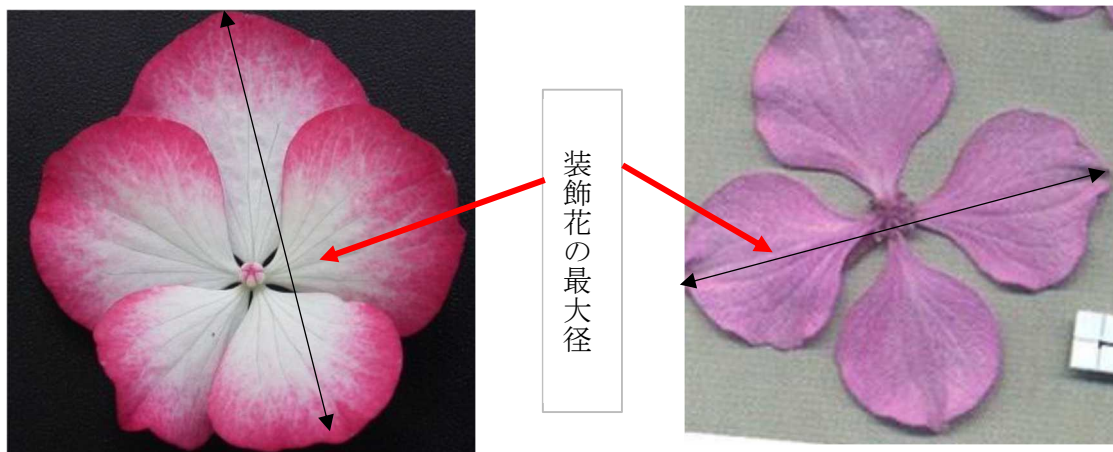
●調査方法

装飾花を平らに伸ばして最大径を測定する。

十分に発達した最初の花序で調査する。

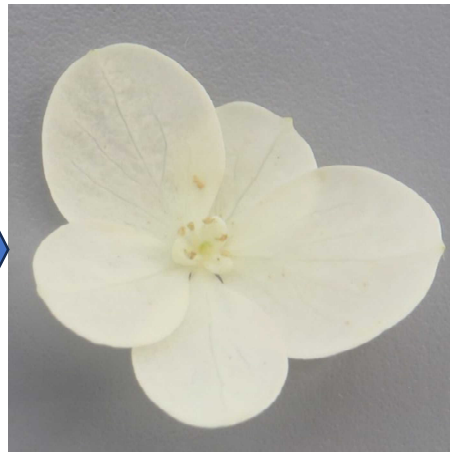
最大の装飾花で開花（中央部の花弁が展開）する前に調査する。

2区制により試験する種にあつては、中 pH 区を調査する。



左側写真：審査基準より引用

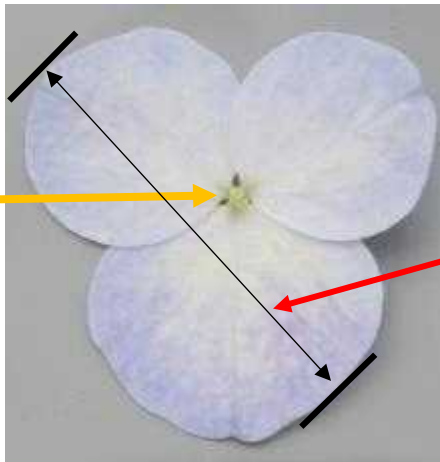
装飾花の調査適期



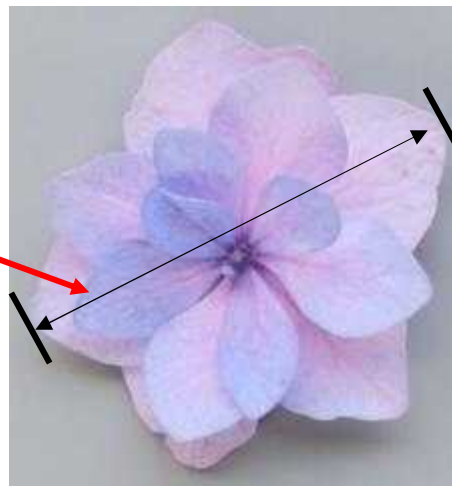
調査適期
(中央部花卉の展開前)

調査適期後
(中央部花卉展開後)

中央部の花卉
が展開する前



装飾花の最大径



がく片を水平にして
最大径を測定する。

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
36	36	33	PQ (*) G	装飾花のがく片 の数	Sterile flower: number of sepals	装飾花のがく片の数	測定 MG (d)	1 2 3 4 5	3～4 4のみ 4～5 5～6 7以上	3 and 4 only 4 4 and 5 5 and 6 7 or more	レイニーハッピー ベル(a)	

●調査時期

開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

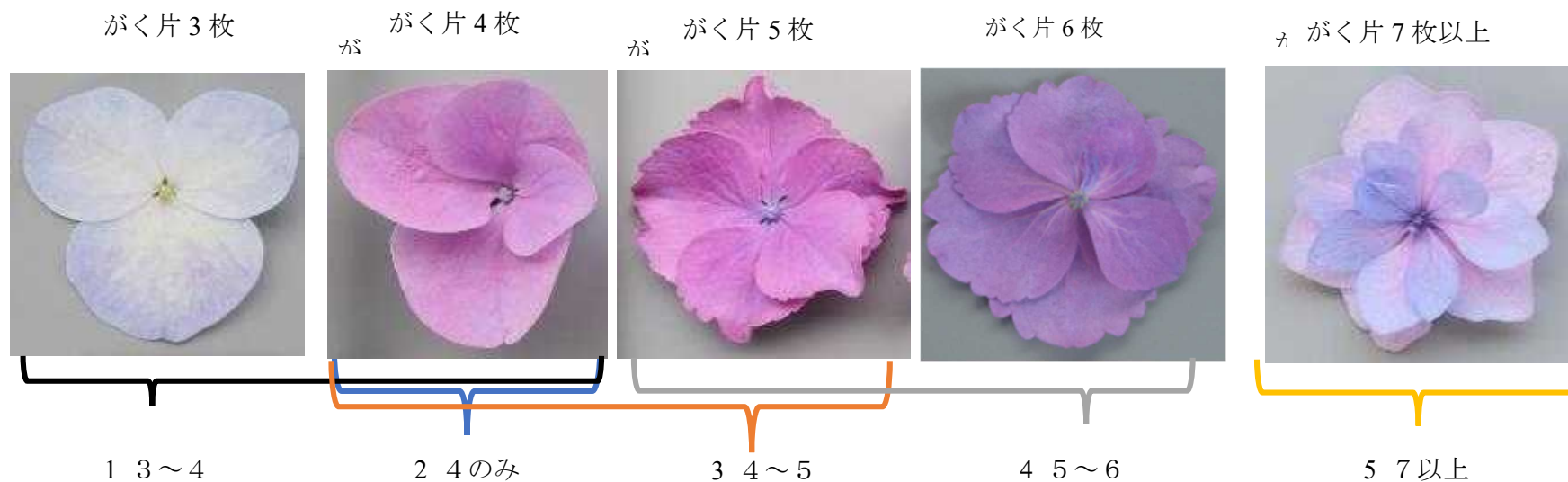
●調査方法

最大の装飾花で開花（中央部の花弁が展開）する前になく片の枚数を測定する。

十分に発達した最初の花序で調査する。

装飾花のがく片の枚数が1番目と2番目に多い装飾花を評価する。

2区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
37	37	34	QN (+)	装飾花のがく片 の姿勢	Sterile flower: attitude of sepals	装飾花のがく片の姿勢	観 察 VG (d)	1 2 3	直立 半直立 水平	erect semi-erect horizontal	HOKOMAREVO(a)	

●調査時期

開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

最大の装飾花で開花（中央部の花卉が展開）する前に最外がく片の姿勢（着生角度）を観察する。

十分に発達した最初の花序で調査する。

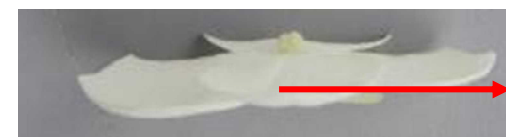
2区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。



1 直立



2 半直立



3 水平

状態区分上側写真：審査基準より引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
38	38		QN (+)	装飾花のがく片 間の節間伸長	Only varieties with number of sepals: 7 or more: Sterile flower: internode elongation among sepals	八重咲きの装飾花内にお けるがく片の間の節間伸 長の程度（がく片の数が 7 以上の品種に限る。）	観 察 VG (d)	1 2 3	無又は極弱 弱 強	absent or very weak weak strong		

●調査時期

開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

最大の装飾花で開花（中央部の花弁が展開）する前に装飾花内におけるがく片の間の節間伸長の程度を観察する。

十分に発達した最初の花序で調査する。

形質 36「装飾花のがく片の数」で「5 7以上」と評価した品種を観察する。

2 区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。



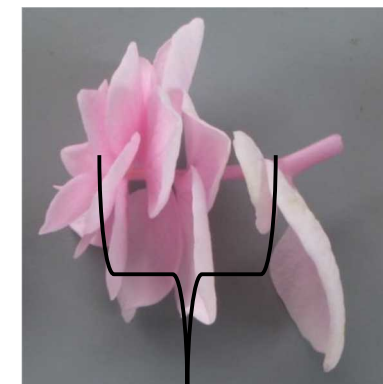
1 無又は極弱



2 弱



3 強



調査部位
(がく片の間の節間
伸長の程度を評価)

写真：審査基準より引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
39	39		QN	装飾花のがく片 の長さ	Sterile flower: length of sepal	装飾花の最大のがく片の 長さ	測定 mm MS (d)	3 5 7	短 中 長	short medium long	ユーミートウギヤ ザー(a)	

●調査時期

開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

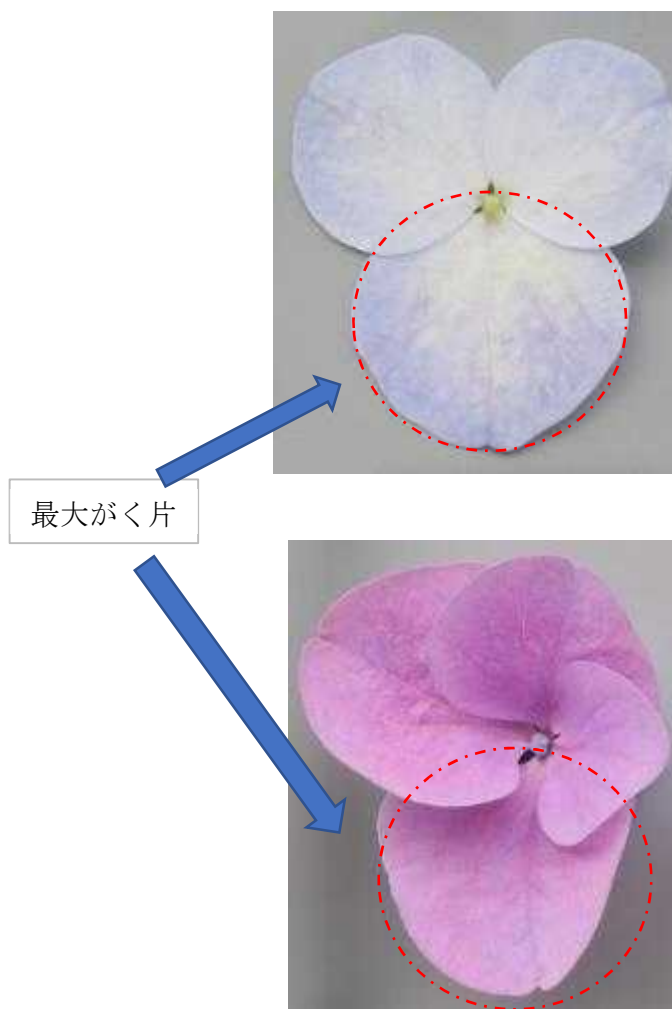
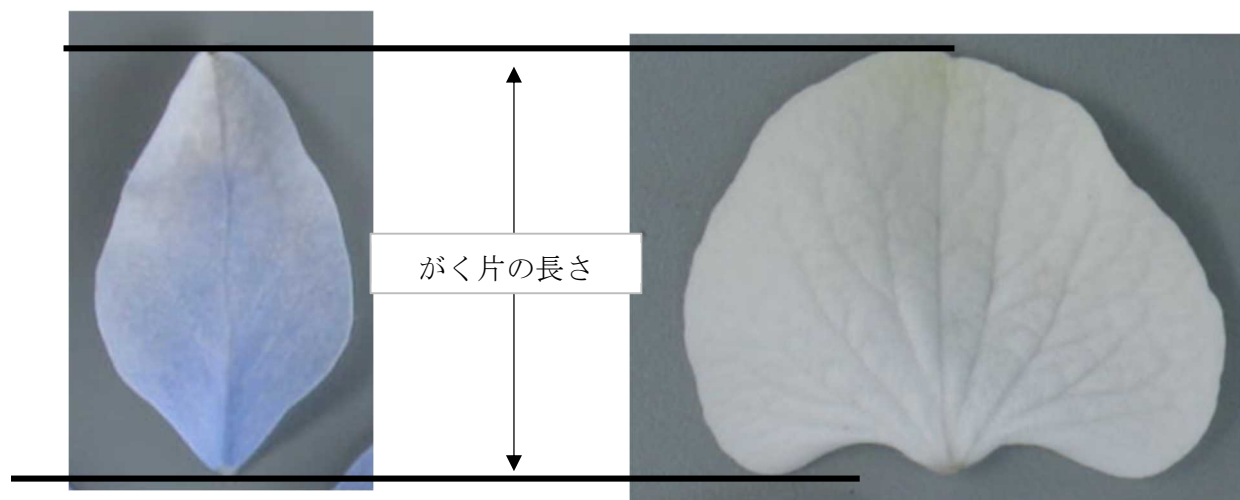
湾曲している場合は、軽く伸ばして基部から先端までの長さを測定する。

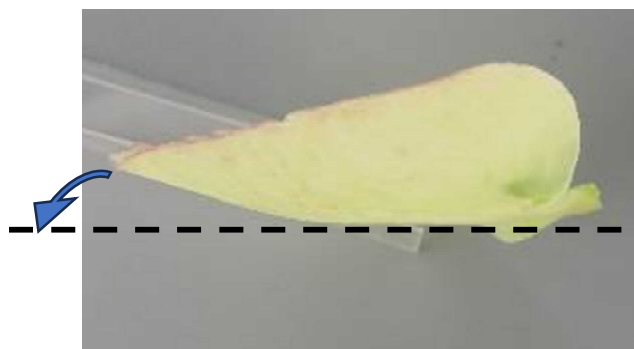
最大の装飾花で開花（中央部の花卉が展開）する前に最も大きいがく片を調査する。

十分に発達した最初の花序で調査する。

抱え咲き品種は裂けてもよいので伸ばして測定する。

2区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。





がく片を水平にして最大の長さを測定する。

抱え咲き



がく片周縁が内曲しているため平らに伸ばせないが、がく片が裂けても良いので伸ばして測定する。

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
40	40		QN	装飾花のがく片の幅	Sterile flower: width of sepal	装飾花の最大のがく片の幅	測定 mm MS (d)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ユーミートウギヤ ザー(a)	

●調査時期

開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

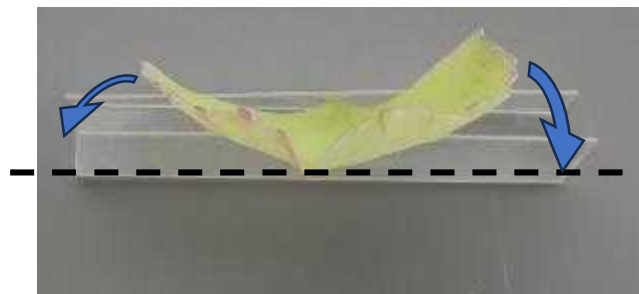
湾曲している場合は、軽く押し広げて最大幅部を測定する。

最大の装飾花で開花（中央部の花卉が展開）する前に最も大きいがく片を調査する。

十分に発達した最初の花序で調査する。

抱え咲き品種は裂けてもよいので伸ばして測定する。

2区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。



がく片を水平にして最大幅を測定する。



がく片の幅

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
41	41		PQ	装飾花のがく片の形	Sterile flower: shape of sepals	装飾花のがく片全体の形	観察 VG (d)	1 2 3 4 5 6 7	披針形 卵形 広卵形 圧平卵形 楕円形 円形 倒卵形	lanceolate ovate broad ovate depressed ovate elliptic circular obovate		

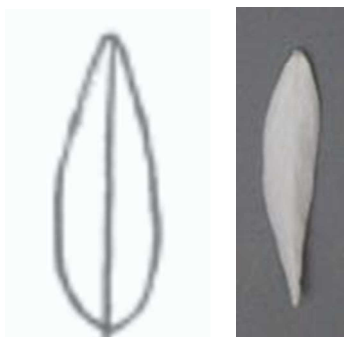
●調査時期

開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

最大の装飾花で開花（中央部の花卉が展開）する前に、典型的な最大がく片の先端部を上にし、軽く押し広げて観察する。
十分に発達した最初の花序で調査する。

2 区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。



1 披針形



2 卵形



3 広卵形

図：UPOV TGP/14/6 より引用



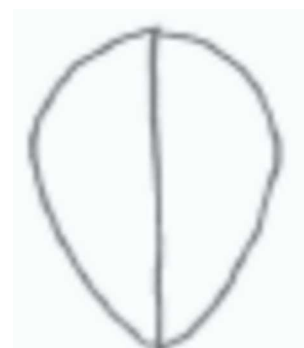
4 压平卵形



5 椭圆形



6 円形



7 倒卵形

図：UPOV TGP/14/6 より引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
42	42	35	PQ (*) (+)	装飾花のがく片 の先端の形	Sterile flower: shape of apex of sepals	装飾花のがく片先端の形	観察 VG (d)	1 2 3	尖形 円形 凹形	pointed rounded emarginate		

●調査時期

開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

最大の装飾花で開花（中央部の花卉が展開）する前に、典型的な最大がく片の先端部を軽く押し広げて観察する。

十分に発達した最初の花序で調査する。

わずかでも凹みがあれば「3 凹形」と評価する。

2 区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。



1 尖形



2 円形



3 凹形

各状態区分の左側写真：審査基準より引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
43	43	36	QN (+)	装飾花のがく片 のしわ	Sterile flower: rugosity of sepals	装飾花のがく片表面のし わ（脈部分の凹み）の強 弱	観 察 VG (d)	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak medium strong		

●調査時期

開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

最大の装飾花で開花（中央部の花卉が展開）する前に、典型的な最大がく片の表面のしわ（脈部分の凹み）の強弱を観察する。

十分に発達した最初の花序で調査する。

2 区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。



1 無又は弱



2 中



3 強

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
44	44	37	PQ (+)	装飾花のがく片 の横断面の形	Sterile flower: shape of sepals in cross-section	装飾花のがく片全体の横 断面の形	観 察 VG (d)	1 2 3	平 やや凹 強く凹	flat weakly concave strongly concave		

●調査時期

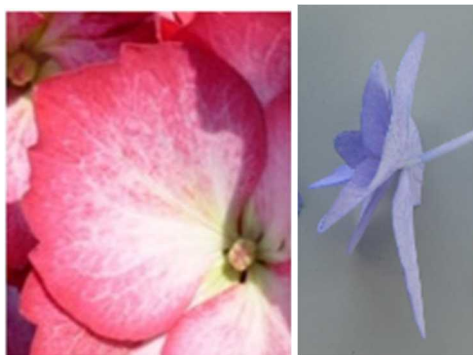
開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

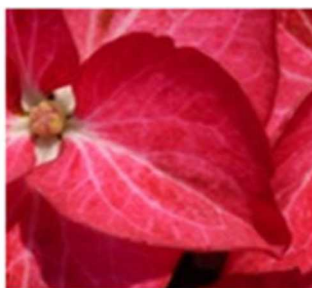
最大の装飾花で開花（中央部の花卉が展開）する前に、典型的な最大がく片全体の横断面の形を観察する。

十分に発達した最初の花序で調査する。

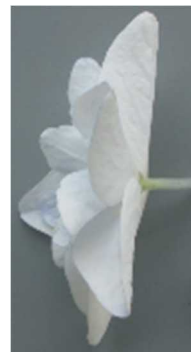
2 区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。



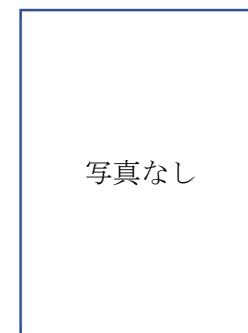
1 平



2 やや凹



3 強く凹



各状態区分の左側写真：審査基準より引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
45	45		QN (+)	装飾花のがく片 周縁の内曲	Sterile flower: incurve of margin of sepals	装飾花のがく片周縁の内 曲の強弱	観察 VG (d)	1 2 3	無又は極弱 弱 強	absent or very weak weak strong	ウズアジサイ(a)	

●調査時期

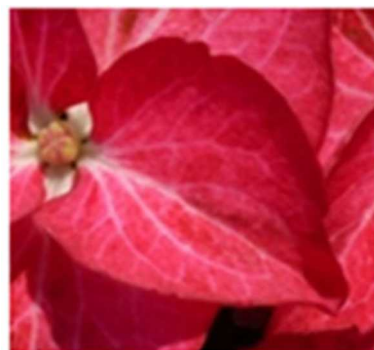
開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

最大の装飾花で開花（中央部の花卉が展開）する前に、典型的な最大のがく片周縁の内曲の強弱を観察する。

十分に発達した最初の花序で調査する。

2 区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。



1 無又は極弱

2 弱

3 強

各状態区分の左側写真：審査基準より引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
46	46	38	QN (*) (+)	装飾花のがく片 の重なり	Only varieties with <u>Sterile flower:</u> <u>number of sepals:</u> <u>3 and 4 to 4 and 5:</u> Sterile flower: overlapping of sepals	装飾花のがく片の重なり の程度（装飾花のがく片 の数が3～4から4～5 の品種に限る。）	観察 VG (d)	1 2 3 4 5	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong		

●調査時期

開花盛期（両性花の開花が供試株の半数確認できたころ）

●調査方法

最大の装飾花で開花（中央部の花卉が展開）する前に、がく片の重なりを観察する。

形質 36「装飾花のがく片の数」で「1 3～4」、「2 4のみ」、「3 4～5」と評価した品種を調査する。

十分に発達した最初の花序で調査する。

2 区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。



1 無又は極弱



2 弱



3 中



4 強



5 極強

写真：審査基準から引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
47	47	39	QN (+)	装飾花のがく片 の波打ち	Sterile flower: undulation of sepals	装飾花のがく片の波打ち の強弱	観 察 VG (d)	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak medium strong		

●調査時期

開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

最大の装飾花で開花（中央部の花卉が展開）する前に、がく片の波打ちの強弱の状態を観察する。

十分に発達した最初の花序で調査する。

2 区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。



1 無又は弱



2 中



3 強

写真：審査基準から引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
48	48	40	QN (*) (+)	装飾花のがく片 周縁の切れ込み の有無	Sterile flower: incisions of margin of sepals	装飾花のがく片周縁の切 れ込みの有無	観 察 VG (d)	1 2 3	すべてのがく片 に無 一部のがく片に 有 すべてのがく片 に有	absent on all sepals present on some sepals present on all sepals		

●調査時期

開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

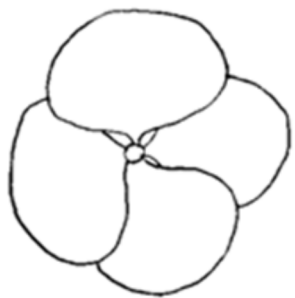
●調査方法

最大の装飾花で開花（中央部の花弁が展開）する前に、がく片周縁の切れ込みの有無を評価する。

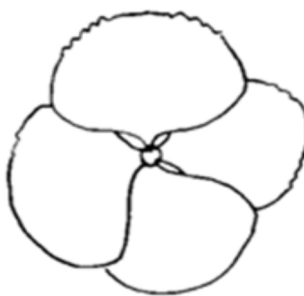
十分に発達した最初の花序で調査する。

微小な切れ込みがあれば、数にかかわらず評価する。

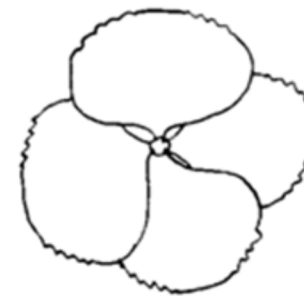
2 区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。



1 すべてのがく片に無



2 一部のがく片に有



3 すべてのがく片に有

図：審査基準から引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
49	49	41	QN (+)	装飾花のがく片 周縁の切れ込み の深さ	Sterile flower: depth of incisions of margin of sepals	装飾花のがく片周縁の切れ込みの深さ（切れ込み有の品種に限る。一部のがく片に有の品種については、切れ込みのあるがく片を調査する。）	観察 VG (d)	1 2 3	浅 中 深	shallow medium deep		

●調査時期

開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

最大の装飾花で開花（中央部の花弁が展開）する前に、がく片周縁の切れ込みの最も深い切れ込みの深さを観察する。

十分に発達した最初の花序で調査する。

形質 48「装飾花のがく片周縁の切れ込みの有無」で、「2 一部のがく片に有」及び「3 すべてのがく片に有」と評価した品種を調査する。

形質 48「装飾花のがく片周縁の切れ込みの有無」で、「2 一部のがく片に有」と評価した品種については、切れ込みのあるがく片を調査する。

2 区制により試験する種にあつては、中 pH 区を調査する。



1 浅



2 中



3 深

写真：審査基準より引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
50	50		QL	装飾花の花色の 変化性の有無	Sterile flower: change of color of sepals due to pH of medium	土壌 pH による花色の変化 の有無（2区制で試験す る品種に限る。）	観察 VG (d)	1 9	無 有	absent present		

●調査時期

開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できた頃）

●調査方法

最大の装飾花で開花（中央部の花卉が展開）する前に、がく片を中 pH 区と低 pH 区で比較し、土壌 pH による色変化の有無を観察する。

十分に発達した最初の花序で調査する。

2 区制で試験する種のみ調査する。



中 pH 区



低 pH 区

1 無



中 pH 区



低 pH 区

9 有

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
51	51		PQ	装飾花のがく片 の色数	Sterile flower: number of colors of sepals	装飾花のがく片の色数	観 察 VG (d) (e)	1 2	1 色 2 色以上	one more than one		

●調査時期

開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

最大の装飾花で開花（中央部の花卉が展開）する前に、がく片の色数を観察する。

十分に発達した最初の花序で調査する。

軽微なぼかしは評価しない。

形質 36「装飾花のがく片の数」で「5 7 以上」と評価した品種は最外のがく片を調査する。

2 区制により試験する種にあっては、中 pH 区及び低 pH 区ごとに調査する。

低 pH 区の特徴が中 pH 区と異なる場合は、「低 pH 区;○○」と備考に記載（○○は状態区分）する。



1 1 色



2 2 色以上



がく片の数が 7 以上で、かつ最外がく片と最内がく片の色が異なる場合、装飾花最外がく片の状態「1 色」を評価する。



軽微なぼかしは、二次色として評価しない。

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
52	52	42	PQ (*) G	装飾花のがく片 の主な色	Sterile flower: main color of inner side of sepals	装飾花のがく片表面の主 な色	観察 VG (c) (d) (e)		RHS カラーチ ャートの色票番 号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

●調査時期

開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

最大の装飾花で開花（中央部の花卉が展開）する前に、がく片表面の主な色を観察する。

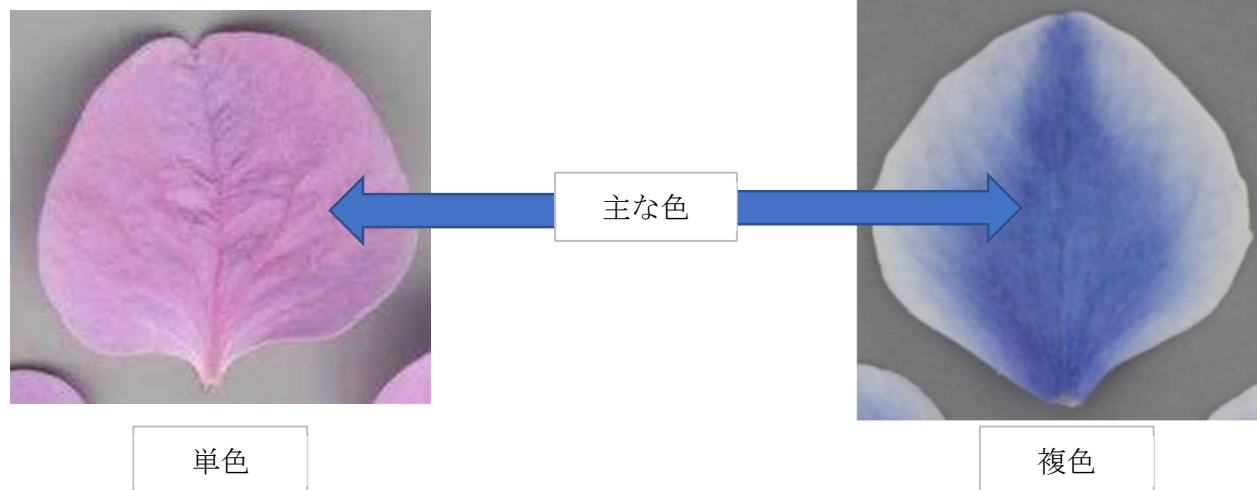
十分に発達した最初の花序で調査する。

主な色は最大面積の色とする。主な色と二次色の面積がほぼ同等の場合には、濃い方の色を主な色とみなす。

形質 36「装飾花のがく片の数」で「5 7以上」と評価した品種は最外のがく片を調査する。

2 区制により試験する種にあっては、中 pH 区及び低 pH 区ごとに調査する。

中 pH 区と低 pH 区の特徴が異なる場合は「低 pH 区;○○」と備考に記載（○○は RHS カラーチャートの色票番号）する。



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
53	53	43	PQ (*)	装飾花のがく片 の二次色	Sterile flower: secondary color of inner side of sepals	装飾花のがく片表面の二 次色（2色以上の品種に 限る。）	観察 VG (c) (d) (e)		RHS カラーチ ャートの色票番 号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

●調査時期

開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

最大の装飾花で開花（中央部の花卉が展開）する前に、がく片表面の二次色を観察する。

十分に発達した最初の花序で調査する。

軽微なぼかしは評価しない。

主な色と二次色の面積がほぼ同等の場合には、薄い方の色を二次色とみなす。

形質 36「装飾花のがく片の数」で「5 7 以上」と評価した品種は最外のがく片を調査する。

形質 51「装飾花のがく片の色数」で「2 2 色以上」と評価した品種を調査する。

2 区制により試験する種にあっては、中 pH 区及び低 pH 区ごとに調査する。

中 pH 区と低 pH 区の特徴が異なる場合は「低 pH 区;○○」と備考に記載（○○は RHS カラーチャートの色票番号）する。



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
54	54	44	PQ (+)	装飾花のがく片 の二次色の分布	Sterile flower: distribution of secondary color of inner side of sepals	装飾花のがく片表面の二 次色の分布（2色以上の 品種に限る。）	観察 VG (c) (d) (e)	1 2 3 4 5	周縁部 先端部 上半分 下半分 全体	marginal zone distal margin in upper half in lower half throughout	サンドラ(a)	

●調査時期

開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

最大の装飾花で開花（中央部の花卉が展開）する前に、がく片表面の二次色の分布を観察する。

十分に発達した最初の花序で調査する。

軽微なぼかしは評価しない。

主な色と二次色の面積がほぼ同等の場合には、薄い方の色を二次色とみなす。

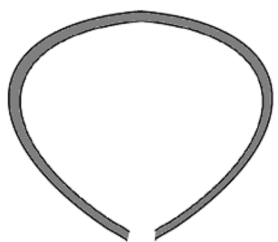
形質 36「装飾花のがく片の数」で「5 7以上」と評価した品種は最外のがく片を調査する。

形質 51「装飾花のがく片の色数」で「2 2色以上」と評価した品種を調査する。

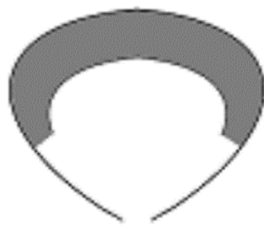
2 区制により試験する種にあっては、中 pH 区及び低 pH 区ごとに調査する。

中 pH 区と低 pH 区の特徴が異なる場合は「低 pH 区;○○」と備考に記載（○○は状態区分）する。

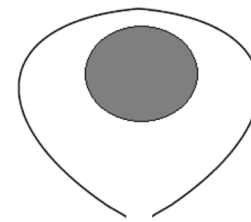
- ・周縁部：がく片のほぼ周縁全体に着色したもの。
- ・先端部：がく片の先端部から 2/3 程度までに着色するもの。
- ・上半分：がく片の中央部の先端側に着色するもの。
- ・下半分：がく片の中央部の基部側に着色するもの。
- ・全 体：がく片の全体的に着色するもの。



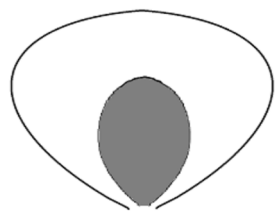
1 周縁部



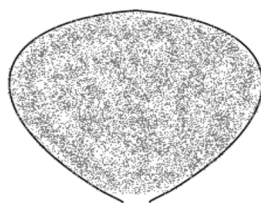
2 先端部



3 上半分



4 下半分



5 全体

各状態区分の上段図及び写真：審査基準から引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
55	55	45	PQ (+)	装飾花のがく片 の二次色の型	Sterile flower: pattern of secondary color of inner side of sepals	装飾花のがく片表面の二 次色の型（2色以上の品 種に限る。）	観察 VG (c) (d) (e)	1 2 3	一様 ぼかし 不規則	solid flush irregular	Hokomac(a) ダンスィングエン ジェル(a)	

●調査時期

開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

最大の装飾花で開花（中央部の花卉が展開）する前に、がく片表面の二次色の型を観察する。

十分に発達した最初の花序で調査する。

軽微なぼかしは評価しない。

主な色と二次色の面積がほぼ同等の場合には、薄い方の色を二次色とみなす。

形質 36「装飾花のがく片の数」で「5 7以上」と評価した品種は最外のがく片を調査する。

形質 51「装飾花のがく片の色数」で「2 2色以上」と評価した品種を調査する。

2 区制により試験する種にあっては、中 pH 区及び低 pH 区ごとに調査する。

中 pH 区と低 pH 区の特徴が異なる場合は「低 pH 区;○○」と備考に記載（○○は状態区分）する。



1 一様



2 ぼかし



3 不規則

各状態区分の左側写真：審査基準から引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
56	56		QN	装飾花のがく片 の二次色の割合	Sterile flower: size of secondary color area in relation to total area of inner side of sepals	装飾花のがく片表面に占 める二次色の面積の割合 (2色以上の品種に限 る。)	観 察 VG (c) (d) (e)	3 5 7	小 中 大	small medium large		

●調査時期

開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

最大の装飾花で開花（中央部の花卉が展開）する前に、がく片表面の二次色の割合を観察する。

十分に発達した最初の花序で調査する。

軽微なぼかしは評価しない。

主な色と二次色の面積がほぼ同等の場合には、薄い方の色を二次色とみなす。

形質 36「装飾花のがく片の数」で「5 7 以上」と評価した品種は最外のがく片を調査する。

形質 51「装飾花のがく片の色数」で「2 2色以上」と評価した品種を調査する。

2 区制により試験する種にあっては、中 pH 区及び低 pH 区ごとに調査する。

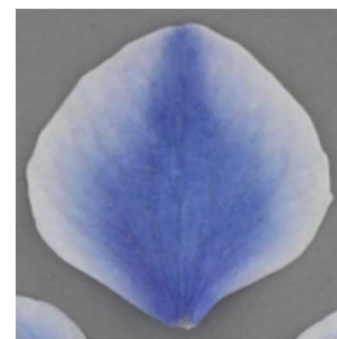
中 pH 区と低 pH 区の特徴が異なる場合は「低 pH 区;○○」と備考に記載（○○は状態区分）する。



3 小



5 中



7 大

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
57	57		PQ	装飾花の小花柄 の色	Sterile flower: color of pedicel	装飾花の小花柄の色	観 察 VG (d) (e)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	黄白 淡緑 桃 赤 赤紫 紫 青紫 淡青 青	yellow white light green pink red red purple purple violet light blue blue		

●調査時期

開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

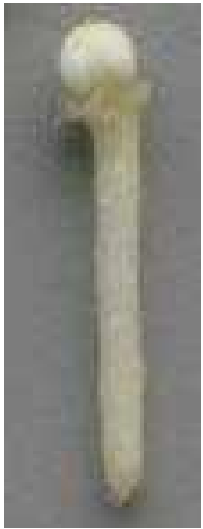
最大の装飾花で開花（中央部の花弁が展開）する前に、装飾花の小花柄の色を観察する。

十分に発達した最初の花序で調査する。

2区制により試験する種にあつては、中 pH 区及び低 pH 区ごとに調査する。

中 pH 区と低 pH 区の特徴が異なる場合は「低 pH 区;○○」と備考に記載（○○は状態区分）する。

安定して色相の異なる色がある場合は主な色を評価し、複色は測定値欄に「二次色;○○」と記載する。



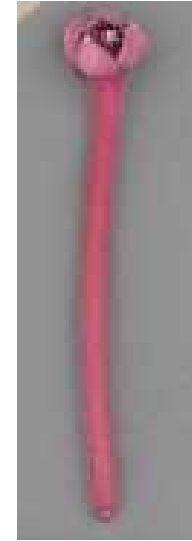
1 黄白



2 淡绿



3 桃



4 赤



5 赤紫



6 紫



7 青紫



8 淡青



9 青

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
58	58	46	PQ (*)	両性花の花弁の色	Only varieties with Fertile flower: conspicuousness: medium or strong: Fertile flower: color of petals	両性花の花弁表面の色 (両性花の明瞭度が中又は強の品種に限る。)	観察 VG (d) (e)	1 2 3 4 5 6 7 8	白 緑 桃 赤 紫 淡紫 淡青 青	white green pink red purple light purple light violet blue		

●調査時期

開花盛期（両性花の開花が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

最大の装飾花で両性花が開花し、開やく寸前又は開やく直後の花弁表面の色を観察する。

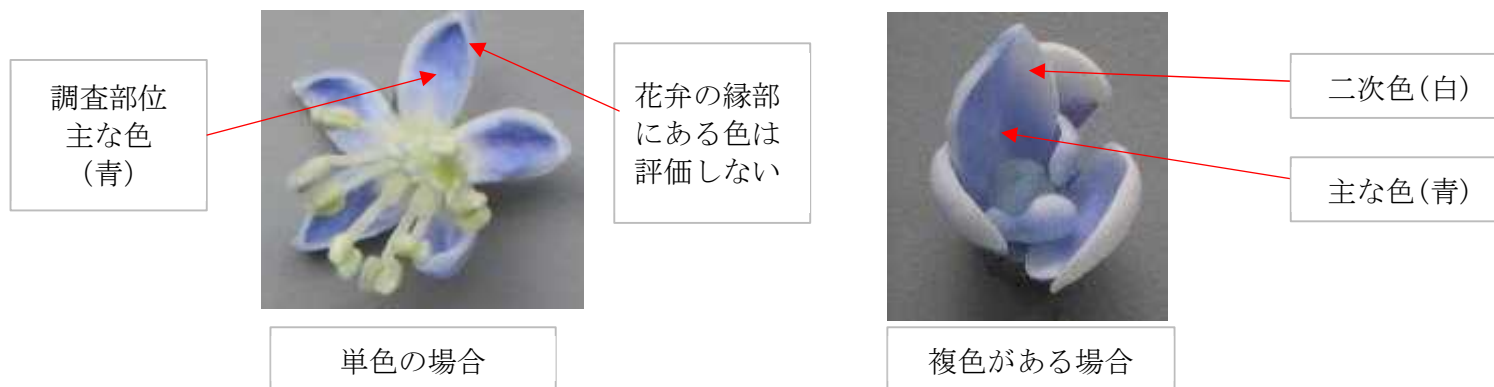
十分に発達した最初の花序で調査する。

形質 31「花序の両性花の明瞭度」で「2 中」又は「3 強」と評価した品種を調査する。

2 区制により試験する種にあっては、中 pH 区及び低 pH 区ごとに調査する。

中 pH 区と低 pH 区の特徴が異なる場合は「低 pH 区;○○」と備考に記載（○○は状態区分）する。

安定して色相の異なる色がある場合は主な色を評価し、複色は測定値欄に「二次色;○○」と記載する。





1 白



2 緑



3 桃



4 赤



5 紫



6 淡紫



7 淡青



8 青

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
59	59	47	PQ (+) (*)	花序の老化による桃又は赤の着色	Only varieties with <u>Inflorescence:</u> <u>shape: conical:</u> Inflorescence: pink or red color at aging	開花終期における装飾花のがく片の桃～赤色の着色の有無（花序の型が円錐型の品種に限る。）	観察 VG	1 2 3	無 花序の一部に有 花序全体に有	absent on a part of inflorescence on the entire inflorescence		

●調査時期
開花終期

●調査方法

pH の違いによる花色変化のない種（1 区栽培を行う品種）のみ調査する。

開花終期（装飾花の中央の花弁の一部が落下し始め、両性花が咲き終わった後）における花序全体の装飾花のがく片の桃～赤色の着色の有無を観察する。

形質 28「花序の型」で「4 球型～円錐型」及び「5 円錐型」と評価した品種を調査する。



1 無



2 花序の一部に有



3 花序全体に有

写真：審査基準から引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
60	60		QN	開花始期	Time of beginning of flowering	着色したがく片が供試株の半数の株で確認できた時期の早晩	観察 VG	3 5 7	早 中 晩	early medium late		

●調査時期

開花始期（花序の装飾花が十分に展開し、着色したがく片が供試株の半数で確認できたころ）

●調査方法

十分に発達した最初の花序の装飾花のがく片が着色し、供試株の半数で確認できた時期の早晩を観察する。

2区制により試験する種にあっては、中 pH 区を調査する。

測定値欄に開花始期（月日）を記載する。

供試株の半数が開花した日を調査する。



調査適期前

調査適期

調査適期後